



大事な場面で役立つ「良いクセ」

尚志館高3年

川越 拓人

先日、私は「職場の教養」という、日付ごとに文章を紹介している冊子を目にしました。その中で、良い習慣を身につけるために「クセをつける」という内容に興味を引かれた。一度身についたクセはなかなか直らないものだ。それなら、良いクセをつけよう、という内容だった。クセは自分が無意識のうちにやっってしまうも

若い日。

ので、良いクセが一度身につけば、大事な場面で必ず役に立つと思う。

私は「相手の目を見て話す」ことを意識している。初対面の時や目上の人と話をする時は、誰でも緊張してしまう。自然と相手の目を見て話すことができれば、しっかりとコミュニケーションをとることができる。相手の目を見て話すことで、自分の気持ちをしっ

かり伝えることにもつながる。そして何より、大切な礼儀の一つだと思う。

この冊子を読んでから、友達との会話や部活動中の先生の目をちゃんと見て話を聞き、話すように心がけている。その方が表情を見

てとれるので、気持ちがよく分かるし、私の気持ちも伝えやすくなったことに気づいた。

良いクセは私を助けてくれると思う。今日もどこかで、私の良いクセが出ていくといいな。(志布志市)